

もくじ

＝先生のための人権教育のてびき＝

1. 人権教育はどんな教育なのでしょう	1
2. 発達段階と人権教育との関連を見てみましょう	2
3. 乳幼児期における人権感覚を大切にしましょう	3
4. 人権教育の内容を見てみましょう	4
5. 道徳教育と人権（同和）教育のちがいを明らかにしましょう	5
6. 人権教育の全体構造（デザイン）を考えてみましょう	6
7. ブロック研って何でしょう	7
8. 白書研って何でしょう	8
9. 宝塚市の解放学級のあゆみ	9
10. 人権教育に効果的な教材とは何でしょう	10
(1) 子どもたちに読み聞かせたい絵本	13
(2) 人権の感性を培う「人権学習」教材 小学校低学年・中学年	15
(3) (4) 人権の感性を培う「人権学習」教材 小学校高学年・中学校	16
(5) 人権の感性を培う「部落問題学習」教材 小学校・中学校	17
(6) 読み継いでいきたい「じんけん絵本・物語」	17
(7) 宝塚の多くの学校園で学んでいる教材	18
(8) 人権・同和学习指導案例	19
(9) 人権・部落問題学習に役立つDVD一覧	20
11. 部落問題とその他の人権問題との違いはどこでしょう＝みんな違ってみんないい？＝	22
12. 義務教育の中で教えておきたい人権課題です	23
13. 今、学校で「いのち」にかかわる最大の問題は「いじめ」です	25
14. 「学習不成立」（学級崩壊）や「荒れ」は子どもの人権問題です	26
15. 学級づくり（経営）をチェックしてみましょう	27
16. 人権感覚の豊かさをチェックしてみましょう	28
17. 幼稚園・認定こども園の先生としてチェックしてみましょう	29
18. 先生！こんなとき、あなたは どうしますか	30
19. 先生が子ども理解で困ったとき	31
20. 子どもの権利条約を子どもたちのものに	32
21. 虐待を見て見ぬふりはダメなのです	33
22. 体罰は子どもの成長にとってプラスになりますか？	34
23. 自分らしく生きるために「性の多様性」	35
24. 新型コロナウイルスを正しく理解しましょう	36
25. 「差別落書き」を発見したら（対応マニュアル）	37
26. 同和地区がありますか？の問いに	38
27. 宝塚市の人権関連の年表から振り返りを	39

＝市民のための人権啓発のてびき＝

1. 市民の方々の人権意識から考えてみましょう	40
2. 「人権感覚」って何でしょう？	41
3. 「人権文化」って何でしょう？	42
4. 自分が好きになるということは	43
5. 差別か区別か、それとも	44
6. この意見にあなたはどのように思いますか？	45
7. 情報化社会の中をどう生きていきますか？	46
8. 差別的な言葉や表現について考えてみましょう	47
9. 人権意識をチェックしてみましょう	48
10. このマークを知っていますか？	49
11. 「宝塚市人権啓発モニュメント」見たことありますか？	50
12. 人権文化センターを拠点とする事業を紹介します	51
13. 宝塚市人権・同和教育協議会について紹介します	53
宝塚市人権・同和教育協議会組織図	54
14. 小学校区人権啓発推進委員会について紹介します	55
15. 宝塚市教育委員会が取り組む主な人権啓発をお知らせします	57
(1) 市民が参加できるいろいろな講座	
(2) 学習会のための「人権教育指導員」と「人権ファシリテーター」の活用について	
16. 学びに行きたい人権関係施設・博物館等の一覧	59
17. 宝塚市教育委員会が行っている人権教育関係の事業一覧	61
「先生と市民のための人権教育・啓発パンフレット」作成委員名簿	

表記について

- 「西暦と年号」について
人権のパンフレットとしては西暦のみの表記でよいのですが、年号(和暦)は時代のイメージ化がしやすいとの声もあることから、西暦と(年号)の併記で原則統一しています。
- 「障がい」について
国や地方公共団体によって「障害」「障がい」「障碍」など使い方が異なっています。当事者やその団体によっても使い方に違いがあります。本パンフレットでは人権関係の主たる使い方である「障がい」を使用しています。
- 「コロナ」について
WHO(世界保健機関)は新型コロナウイルス感染症の正式な病名を「COVID-19」としています。ところがその新型ウイルスが王冠に似ていることからギリシャ語で「corona(コロナ)」、また、太陽のコロナに似ていることから英語で「CORONA(コロナ)」と言われ、その呼び方が通常化しています。本パンフレットでは似ているからその名を使うのは好ましいものではありませんが、通常化された「新型コロナウイルス」「コロナ禍」を使用しています。